

生衛信州

(公財) 長野県生活衛生営業指導センター
(一社) 長野県生活衛生同業組合連合会広報紙

「消費者と生活衛生業の懇談会」「標準営業約款推進協議会」を開催しました

10月29日（水）、ホテル国際21（長野市）で、「消費者と生活衛生業の懇談会」を開催しました。昨年度、長野県消費生活センター及び当指導センターに寄せられた生活衛生業に係る相談内容について説明があった後、消費者団体の皆様と生衛組合の理事長が意見交換。苦情相談への対応や生衛組合の役割などについて、熱心な議論が交わされました。

続いて「標準営業約款推進長野県協議会」を開催。事務局から、標準営業約款（Sマーク）の登録数は、減少傾向にあるものの、本県が全国第2位の1,170件

（令和7年3月末）であることを紹介。その後、登録の現状や課題、広報活動の充実などについて、活発な意見交換が行われました。



クリーニング師研修・業務従事者講習を開催しました

今年度のクリーニング師研修及び業務従事者講習を、10月3日（金）松本市勤労者福祉センター、10月17日（金）エス・バード（飯田市）、11月9日（日）長野ターミナル会館（長野市）の3会場で開催しました。（写真は松本会場）

この研修・講習は、クリーニング業法に基づきクリーニング師等に3年に一度受講が義務付けられているもので、今年度から令和9年度までが第13クールです。

3会場の合計で、クリーニング師57名、クリーニング業務従事者67名が受講されました。研修（講習）内容は、「衛生法規及び公衆衛生」「繊維及び繊維製品」「洗濯物の処理」「洗濯物の受取・保管・引渡し」の4科目です。

受講された皆さんからは、「大変参考になった」「このような機会があることで改めて注意しながら業務に従事できる」「受付時の目視確認の重要さを再認識した」などの声が寄せられました。

研修2型（通信制）については、クリーニング師41名、クリーニング業務従事者83名が受講されました。

研修を修了された方には、修了証書と研修修了済ステッカーが交付されました。



経営特別相談員研修会を開催しました

11月12日（水）、ホテル国際21（長野市）で「生活衛生営業経営特別相談員研修会」を開催し、経営特別相談員23名が受講されました。

経営特別相談員は、現在12組合合計で40名が知事から委嘱されており、生活衛生営業の皆様の経理、税務、金融、労務管理等経営に関する指導や、助言、相談を行っています。

研修内容は次のとおりです。

1. 日本政策金融公庫の概要と衛経の推薦事務

（講師）日本政策金融公庫長野支店 融資課長 奥間 敦氏

生活衛生改善貸付（衛経）の推薦事務を中心に、説明をいただきました。推薦手続の流れ、信用調査の進め方、書類記入時のチェックポイントなど、推薦事務全般にわたって説明がありました。推薦書作成時に特に注意が必要な点については、具体的な事例を示してお話しをいただきました。



2. 生活衛生行政の動向と課題

（講師）長野県食品・生活衛生課 生活衛生係長 上嶋 祐貴氏

生活衛生行政の法体系と制度、地域保健法と保健所の役割、生活衛生関係営業の現状と施策、生衛組合の意義などについて説明がありました。経営特別相談員に取り組んでほしい、業種別の指導事項についても説明をいただきました。



3. 生活衛生業におけるデジタル化のメリット

（講師）長野ビジネスコンサルタンツ代表 中小企業診断士 伊藤 光之氏

デジタル化の推進によって、売上アップや業務の効率化につながり、労働環境にゆとりが生まれる。顧客満足度も上がると具体例を示して話されました。

POSレジは経営者のアシスタントになる、分析機能を使って重点主義の品揃えにし、優先順位をつける。リピーターを増やして、口コミを発信してもらえる店づくりをすることも大切とのお話しがありました。



4. A.I社会とどう向き合う？～やさしく学ぶ、“未来のあたりまえ”～

（講師）発見と創造ラボ代表 水崎 歩実氏

生成AIは、文章、画像、動画、音楽を作ることができると説明があり、ChatGPTを使って実演をされました。

生成AIのしくみについて説明があり、確率の高いものを作ることが間違うこともある。生成AIが作ったものが「いいもの」「使えるもの」かどうかを判断するのは人間であり、生成AIの特性を知り、人とAIがバランスよく役割分担する社会を目指したいとのお話しがありました。



栄えある受賞 おめでとうございます

受賞された皆様の、長年にわたる生活衛生業発展のためのご尽力と顕著な功績に深く敬意を表しますとともに、心からのお祝いを申し上げます。

～～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*

令和7年度 厚生労働大臣表彰（生活衛生功労）

（敬称略、順不同）



*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

令和7年度（一社）全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

（敬称略、順不同）



*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

インターンシップ事業を行いました

生衛組合では、生衛業界の後継者の育成などを目的に、小中学校や高校生を対象に、インターンシップ事業を行っています。

10月27日（月）、長野県クリーニング生衛組合が、南箕輪村の南部小学校で体験学習を開催。6年生50名が参加しました。

洗濯が汚れを落とすしくみや、洗濯の工程、表示について学習。

自分の紅白帽子を洗ったり、ドライクリーニングの溶剤の入ったビンにティッシュを入れて形の変化を観察したりしました。

子どもたちは、実習や実験を通して、クリーニングの仕事の大切さを学んだ様子でした。



LINEセミナーを開催しました

11月18日（火）、ホテル国際21（長野市）で、長野県そば商生衛組合と長野県指導センターが共催し、LINEセミナーを開催、13名が参加しました。

講師は、株式会社アップネットの代表取締役 三俣史博氏とアドバイザーの村田智子氏。

グループLINE、LINE WORKS、LINE公式アカウントそれぞれの便利な機能やメリット、使い分けなどについて詳しい説明をいただきました。

また、GoogleマップやSNSを活用したネット集客についてお話があり、まずは無料でできることを優先する、情報の定期的な更新を継続することが重要で信頼につながる、お客様目線でわかりやすく情報を伝えようと話されました。参加した皆さんには、熱心に質問をされていました。



「生成AI」実践セミナーを開催しました

12月8日（月）、もんぜんぶら座（長野市）で、長野県理容生衛組合と長野県指導センターが共催し、「生成AI」実践セミナーを開催、17名が受講しました。

講師は、発見と創造ラボ代表 水嶋 歩実氏。

4人ずつのグループになり、各自のスマホで生成AIに

「お客様との雑談ネタをたくさん出して」と指示したり、画像を生成したりして、実践形式で学びました。皆さんは楽しみながら体験していました。

命令文（プロンプト）を書くときのコツは、What 何を作る？ Why 何のため？ Who 自分は誰？ Whom 相手は誰？ の4つが大事とのことでした。

生成AIについて、ビジネスでの導入事例や使用の際の注意点、実用への課題などもお話をいただきました。



長野県デジタル化一貫支援サイトのご紹介

デジタル化・DX推進でお困りの方へ向けて、県では、「長野県デジタル化一貫支援サイト」を開設、中小企業のデジタル化を支援しています。

- デジタル化の進め方がわからない…
 - 支援策や事例、補助金を知りたい…
 - 課題解決、ツール導入の伴走をしてほしい…
 - デジタル化について学べるセミナーや、役立つイベント情報を知りたい…
- こんなとき、支援サイトをご活用ください。

<https://nagano-digital-portal.jp>



長野県デジタル化
一貫支援サイト

長野県最低賃金が改正されました

長野県内の事業場で働くすべての労働者に適用される「長野県最低賃金」が、令和7年10月3日から時間額1,061円に改正されました。

最低賃金制度は、最低賃金法に基づき、国が賃金の最低額を定め、使用者はその金額以上の賃金を労働者に支払わなければいけないとされている制度です。この機会に、支払われている賃金の確認をしてみてください。

問い合わせ先

長野労働局労働基準部賃金室

電話：026-223-0555

最寄りの労働基準監督署



公益財団法人 長野県生活衛生営業指導センター

[一般社団法人 長野県生活衛生同業組合連合会]

〒380-0872 長野市南長野妻科 426-1 長野県建築士会館 3F

電話：026-235-3612 FAX：026-234-0369 E-mail：naganocenter@seiei.or.jp